

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)		商店街（代表者）	・博覧会の開催効果が続き、観光客の来街が見込まれ、その影響は県下全体に波及している。商店街でも、空き店舗が飲食などで営業再開しているケースが見られ、かなり良い傾向になっている。
		コンビニ（店長）	・客からはゆとりが感じられ、節約志向は少し落ち着いてきている。
		コンビニ（商品担当）	・天候に恵まれて気温が上昇すれば、販売量が増える。夏の一押し商品等をしっかりと売り込み、販売につなげたい。
		乗用車販売店（役員）	・高齢者や単独事故の報道が多く、自動ブレーキ標準装備車への買換え需要が底堅く続くと予想される。
		住関連専門店（経営者）	・低金利の影響もあって最近、近隣において徐々に住宅が建築されている。住宅が建つと家財が売れ、今後は多少良くなると期待している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・夏場に向けて飲み物が良く売れ、お中元としても購入してもらえる。
		旅行代理店（営業部長）	・四国デスティネーションキャンペーンの勢いを夏商戦に結び付けることができれば、観光関連は更に良くなる。
		通信会社（営業部長）	・新商品の発売が予定されている。
		観光遊園地（職員）	・四国デスティネーションキャンペーンと愛媛国体がある。
		ゴルフ場（従業員）	・まだまだ不景気な状況が続いている。客単価も売上も下落し、予約状況も悪い。
		設計事務所（所長）	・市内でホテルや旅館の新築、改築が活発になってきている。
		商店街（事務局長）	・人手不足が続き、地方においてもアルバイト等の賃金上昇が若干感じられる。まだまだ全体の所得向上にはつながっていないが、消費動向に追い風となることを期待している。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・外国人観光客が増えている恩恵を受ける業種は限られており、当店はその恩恵を受けられずにいる。来客数に変化は見られない。
		スーパー（企画担当）	・5月以降に新規出店があり、更に競争が激しくなり、単価は下がる。品質の高い商品も値下げして販売するようになると、厳しさが増す。
		スーパー（財務担当）	・競合店の影響がしばらく続き、客の節約志向も当面続く。
		コンビニ（総務）	・景気を良くする施策もなく、業績向上には企業努力しかない。
		衣料品専門店（総務担当）	・季節要因で売上は上向いているものの、客単価は増えず、消費動向は依然強くない。
		家電量販店（店員）	・夏のボーナス次第でどちらにでも転ぶ。現状では不透明。
		家電量販店（副店長）	・家計の節約志向は変わらず、競合店との価格競争が続くと予測する。
		乗用車販売店（従業員）	・大型ショッピングモールがオープンしたが、景気への影響は少ない。周辺道路の渋滞による修理部品等の配達遅れが発生する事が気掛かりである。
		乗用車販売店（従業員）	・国際情勢や国内政治に不安材料があるものの、足元の景気は例年通り。しばらくは新型車発表もないから、業界全体の販売台数は変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・決算商戦の反動で、需要が落ち込んでいる。
		観光型旅館（経営者）	・5～6月の予約状況は良いが、景気が良くなっているわけではない。現状がしばらく続くと思われる。
		都市型ホテル（経営者）	・先行きの予約状況は変わっていない。
		タクシー運転手	・梅雨に入ると乗車率が上がるかもしれないが、昼間が良いと夜間は落ちる場合が多く、あまり変化はない。
		通信会社（支店長）	・当面、大きな変動要素はない。
		通信会社（営業担当）	・夏商戦までは活気を取り戻す材料が無い。
		通信会社（技術部）	・年度替わりに転宅等で獲得した新規の回線工事が順次完了しており、5月いっぱいには現状のままになる。
		競輪競馬（マネージャー）	・朝鮮半島情勢や米国の新政権の対日政策による為替相場への影響が懸念され、景気が上向き見込みは薄い。
		美容室（経営者）	・特に変化はない。
	商店街（代表者）	・大型店同士の淘汰が進み、活性化策を打ち切られた中心市街地の方向性は見えない。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・インターネット注文は好調だが、必要なものしか購入しない場合が多い。来店客が減ると余分買いが見込めないで、悪くなっていくかもしれない。	

	百貨店（販売促進担当）	・近隣に大型ショッピングモールが新規出店したばかりで、商圏内での競合激化が予想される。
	衣料品専門店（経営者）	・3件目の大型ショッピングモールが市内にオープンし、既存店は相当影響があると不安視している。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・客が競合店に流れ、しばらくは影響を受ける。
	タクシー運転手	・夏場はお遍路の仕事がかなり減り、今より悪くなる。
	美容室（経営者）	・髪を整えて参加するようなイベントがない時期に入り、客足は落ちる。
	× 一般小売店〔乾物〕（店員）	・大型ショッピングモールの影響で、ピンチに陥っている。
	× 一般小売店〔酒〕（販売担当）	・市内に大型ショッピングモールがオープンしたため、当分の間は地元の小売専門店は大きな打撃を受ける。
	× コンビニ（店長）	・ゴールデンウィークが終わると、個人消費はまた落ち込む。
	× 衣料品専門店（経営者）	・消費税が上がるなど、景気が良くなる兆しは全く見えない。
企業動向関連	*	*
(四国)	電気機械器具製造業（経営者）	・メガソーラーの大型案件を2件続けて受注できた。工事と開発等を一貫して請け負っているため、売上は増加する。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・海外への売り込みに力を入れており、これが実を結ぶと売上が伸びる。
	鉄鋼業（総務部長）	・造船関連の受注は今後も低水準で推移する見込み。唯一明るい話題は、年初から上昇していた主要材料のスクラップ価格が、若干値下がり傾向にあること。
	電気機械器具製造業（経理）	・得意先からの受注ならびに受注予測は、数%幅で上下すると予想する。ただし、最終消費については大きく変動せず、堅調に推移する。
	建設業（経営者）	・今後の発注状況は、公共工事も民間工事もあり芳しくない。
	金融業（副支店長）	・足元での取引先の資金需要動向に大きな変化はない。業種を問わず人手不足に悩む企業が多く、売上増に向けて設備投資など積極的な戦略は取り難い背景がうかがえる。
	広告代理店（経営者）	・県外得意先の新規オープンの予定がある一方、地元得意先は広告費削減傾向が強い。全体では、大きな変化はない見込み。
	公認会計士	・関係先の経営者によると、人手不足の問題が出ており、設備投資に慎重な企業が多い。
	農林水産業（職員）	・世界的な政治、経済の不透明感は増すばかりで、米国の新政権の動向やヨーロッパ情勢、国内では米国抜きでのTPPの動き等、見通しがつかない。消費も低調で、農産物の販売も厳しさが続いており、大きな好転要素がない限り現状からの脱却は難しい。
	木材木製品製造業	・販売先との契約率が前年割れすることが増えてきている。
	化学工業（所長）	・デフレ傾向にある。
	建設業（経営者）	・今年は地方（地元）業者が活躍できる公共事業が減少する見通しで、今のところ良くなる要素が無い。
	輸送業（営業）	・宅配業者のみならず、企業向け小口積合せ貨物を取扱う運送会社も人手不足等を背景に、値上げを検討あるいは実施している。そのため、貨物は運賃の安価な業者に偏って流れ、受託物量は不安定になると予想する。また、燃油価格が上昇に転じ、5月以降も上がり続けると推察される。先行きは極めて厳しい。
	通信業（営業担当）	・企業CMの規模、キャンペーンの規模が小さいと感じている。新規の引き合いも少ない。
	× 輸送業（支店長）	・燃料費上昇分を価格転嫁できない状況にある。
雇用関連	-	-
(四国)	人材派遣会社（営業担当）	・人手不足を背景に、企業は高い紹介料を払ってでも人材を留め置きたい意向がうかがえる。
	人材派遣会社（営業）	・新年度がスタートし、生活も落ち着き、消費意欲が落ちていると感じる。人手不足は続いているが、夏に向けて今から雇用の確保や人材育成に注力していく企業が増えている。
	求人情報誌（営業）	・長期化している人材難の解決策が見い出せないでいる。これ以上続くと景気が悪化する可能性もある。
	職業安定所（職員）	・3月の有効求人倍率は1.45倍で、前年10月以降、1.4倍台が続いており、大きな変動がない。
	職業安定所（職員）	・正社員の求人は増加しているが、賃金面において非正規と大差ないものが多い。

	民間職業紹介機関（所長）	・新卒の採用が始まっているが、前年より採用数を増やしている企業は2割程度。中小企業は求人を出しても応募がないと予想するなど、閉塞感が強い。
	学校〔大学〕（就職担当）	・企業の求人数は今後も増加するだろうが、地域経済に好転の兆しは見られない。
	人材派遣会社（営業担当）	・求人募集に経費がかさみ、就労につながらないケースが目立つ。
	求人情報誌制作会社（従業員）	・異動時期が過ぎると、求人数は減少する。
x	-	-